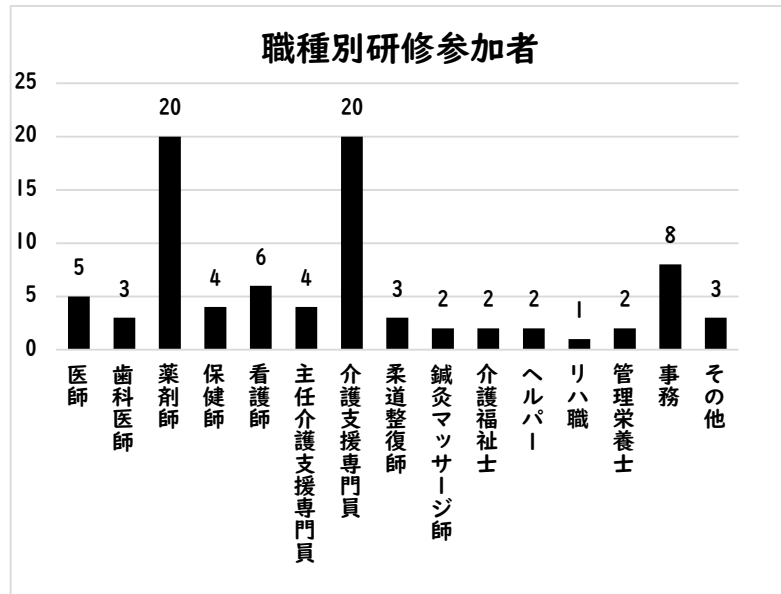


令和3年度 第1回 医療・介護関係者の研修実施報告

- ・開催日時 令和3年 12月17日 19:00~20:00
- ・参加者 85名(参加後のアンケート返信31名)
- ・開催方法 WEB開催
- ・テーマ 『MCSを活用しませんか』
～関係機関の連携ツールとしてのMCSについて～
- ・内容 ①MCSの概要、操作、セキュリティについて説明する。
②中村内科医院の中村医師によるMCSを活用した事例(支援状況)を伺い、チーム医療の一員であるぶどうの枝訪問看護の及川看護師にもお話を伺う。
③多摩市高齢者在宅療養相談窓口より、現在の登録者数、活用方法、申込方法について説明する

1. 職種別研修参加者

職種	人数
医師	5
歯科医師	3
薬剤師	20
保健師	4
看護師	6
主任介護支援専門員	4
介護支援専門員	20
柔道整復師	3
鍼灸マッサージ師	2
介護福祉士	2
ヘルパー	2
リハ職	1
管理栄養士	2
事務	8
その他	3
合計	85

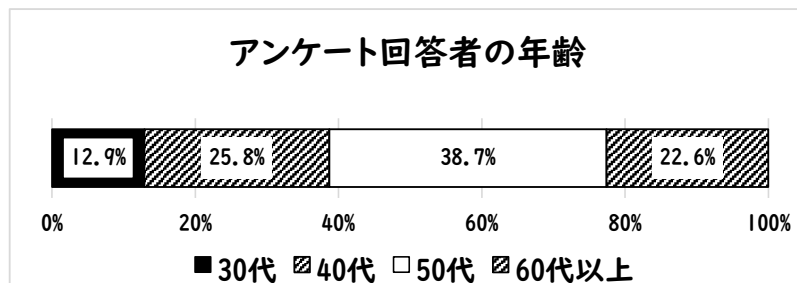


2. アンケート集計結果

- ・参加者 85名
- ・アンケート回答者 31名
- ・回答率 41.9%(市職員11名除く)

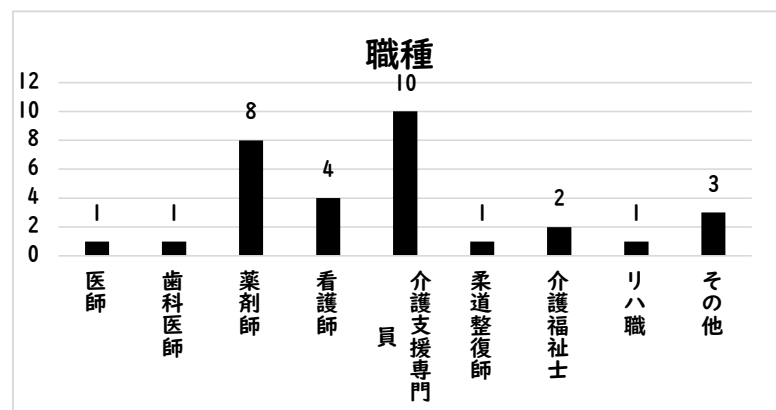
問1 年齢

年齢	人数
30代	4
40代	8
50代	12
60代以上	7
合計	31



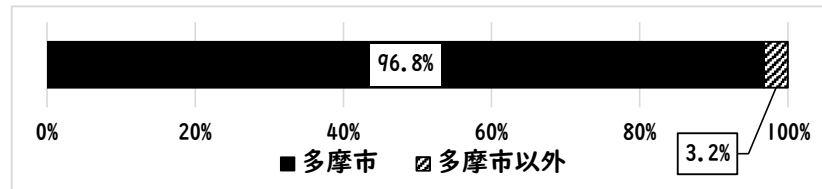
問2 職種

職種	人数
医師	1
歯科医師	1
薬剤師	8
看護師	4
介護支援専門員	10
柔道整復師	1
介護福祉士	2
リハ職	1
その他	3
合計	31



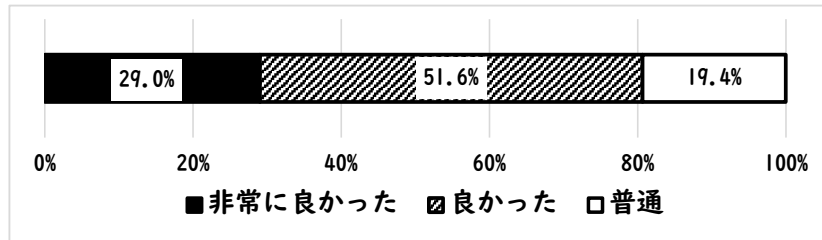
問3 勤務地

多摩市	30
多摩市以外	1



問4 研修の評価

非常に良かった	9
良かった	16
普通	6
あまり良くない	0



問5 今回の研修会の意見等の自由記入 ※一部抜粋

- ・MCSの内容、良い点について理解が出来ました。
- ・MCSを実際に利用している方の実際のやり取りの様子やメリットが聞けたのはよかった。
- ・医療依存度の高いケースはとても有効なツールと思いました。
- ・不勉強でMCSを知りませんでした。当事業所でも多くの事業所を利用されている利用者さんがいらっしゃるので、MCSを使ったらスムーズな介護の連携ができると思いました。
- ・早速導入したいと思った。
- ・今まではほぼ電話での連携だったが、連絡が取れず困ることもあったのでMCSには非常にメリットがあると感じた。
- ・個人アカウントの利用とのことでしたが、非常勤や退職者などへの対応など、運用方法に実際が聞けると参考になります。
- ・ドクターの利用例が聞けたことが非常に参考になった。
- ・パソコンや情報機器に不慣れだが、そんな私でも大丈夫という印象だった。
- ・連絡内容により、色々なツールを使い分けることがスムーズな連携ができると考えています。
- ・ヘルパーはケアマネ経由で情報共有をすることが多いため、ヘルパーも利用できると、患者さんの体調変化等もより敏感に気づくことができるようになると思う。

問5 関係機関の連携ツールとして課題に感じていること ※一部抜粋

- ・MCSは一部の職種だけ参加しているイメージがあるので、多職種で参加出来たらよい。
- ・時間を気にせず情報共有できるのでいいと思いました。訪問介護事業所にMCS導入について確認しても「会社的に難しい」と言われたことがあったので訪問介護も増えるといいと思います。
- ・現在は電話や連絡ノートや記録票などで情報を共有していますが、どうしても時差がある。
- ・それぞれの法人で考え方が違う（メールでOK、電話やFAXでないとダメ等）ので統一することの難しさに課題を感じる。
- ・MCSが便利なのはわかったが、全員が使いこなせないと、情報格差が生じてしまうのではないかと。
- ・MCSの初期設定や導入について説明してほしかった。
- ・電話だけだとうまく伝わらないこともあるため、MCS等文字化して残すことが必要。
- ・退院時や退院後の連携がスムーズに行える時とそうでない時に差がある。
- ・MCSにも入力して、カルテにも入力するのが、やや煩雑かもしれません。
- ・MCSを個人の端末でも使えるようにするか等セキュリティ面での課題がある。
- ・専門用語や略語を使わずに配慮する必要がある。
- ・便利ですが、24h返信しなくてはならないところがあります。休日なのに対応しなくてはならないプレッシャーがあります。
- ・MCSについて、在宅診療を始めた先生や新入会員の登録及び退会された先生等登録情報の更新が必要だと思います。